

反省なし 聞く耳なし

岸田文雄首相は8日、衆参院本会議で所信表明演説を行いました。コロナ失政への無反省、アベノミクス継承など安倍・菅直系がますますはつきりました。

コロナ

感染爆発招いた失政ふれず

感染爆発や多くの在宅死をもたらしたPCR検査抑制、「GoTo事業」、東京五輪の強行開催、「原則自宅療養」方針の押し付けの失政には何ら反省を示しませんでした。

医療提供体制の整備・拡充は、具体的な方針を示さない一方で、公的病院の統廃合計画は推進。ワクチン頼みを強調するにとどまり、「予約不要の無料検査の拡大」と述べましたが「PCR」の文言がありません。

経済

アベノミクスの「三番煎じ」

岸田首相は「新しい資本主義」を打ち出しましたが、政策として挙げたのは「大胆な金融政策、機動的な財政政策、成長戦略」。アベノミクスの「3本の矢」そのものです。「成長と分配の好循環」というスローガンに至っては安倍晋三元首相が衆参本会議で55回も使った言葉。三番煎じの出がらしです。

安保・外交

被爆者・沖縄に顔向けす

「被爆地広島出身の総理大臣として、私が目指すのは『核兵器のない世界』だ」。岸田首相はこう強調しましたが、肝心の核兵器禁止条約には言及しませんでした。被爆者の切実な声を無視する恥ずべき態度です。日米同盟強化をうたい、沖縄の辺野古新基地建設は「工事を進める」と言い放ちました。

野党4党の共通政策		岸田首相の所信表明
安民法制、秘密保護法、共謀罪などの違憲部分の廃止、コロナ禍に乗じた改憲反対 核兵器禁止条約批准をめざす 沖縄・辺野古新基地建設中止	憲法・平和	ミサイル防衛能力強化など軍事力拡充路線、改憲推進の姿勢 核兵器禁止条約に背を向ける 辺野古新基地建設「工事を進める」
医療費削減政策を転換。医療・公衆衛生の整備を迅速に進める コロナ禍で倒産や失業などの打撃を受けた人や企業を救う万全の財政支援	コロナ対応	病床削減推進法など医療・公衆衛生切り捨て政治に無反省 持続化給付金家賃支援金を1回で打ち切り支援を怠ったことへの反省なし
消費税減税を行い、富裕層の負担を強化するなど公平な税制を実現	格差・貧困	「新しい資本主義」というも、中身は貧困と格差を広げたアベノミクスの継承
再生可能エネルギーを拡充し、石炭火力からの脱却、原発のない脱炭素社会を追求	気候危機	気候危機打開に向けた具体策語らず。石炭火発、原発の新增設・再稼働が前提の政策
選択的夫婦別姓制度やLGBT平等法の成立、性暴力根絶に向けた法整備を推進	ジェンダー平等	選択的夫婦別姓制度の導入などジェンダー平等を進める政策を一切語らず
森友・加計、桜を見る会など権力私物化疑惑の究明。学術会議会員を推薦通り任命	権力私物化	甘利氏の疑惑はしめ金権腐敗、私物化疑惑に触れず。学術会議会員の任命拒否を継続

政権交代で政治刷新を

岸田政権発足後の世論調査では安倍・菅政権の路線転換を求める声が多い。総選挙で政権交代を実現し、国民の声が届く政治へ刷新させましょう。

